

記者資料提供（令和3年8月19日）

神戸市健康局地域医療課 中山・島・須田 TEL：078-322-6674（内線3379）

地方独立行政法人神戸市民病院機構法人本部 小倉・三宅 TEL：078-940-0149

## 新規感染者の急増に伴う、 市民病院での通常医療の制限によるコロナ受入病床の拡大について

本市の新規感染者数は、8月11日に第4波以降初めて200人を超え（8月11日：221人）、さらに同月18日には過去最高となる367人の新規患者が発生するなど、これまでにないペースで感染が急拡大しています。

このため、8月18日時点の病床使用率は86%（243床／282床）となり、ステージ4（病床使用率50%以上）の基準を大きく超え、入院調整が難しい状況となっています。

新型コロナウイルス感染症患者の減少を受け、市民病院においては6月22日から順次、コロナ受入病床の一部を一般病床に戻し、通常医療における入院・手術等の制限を一部解除していましたが、第5波の感染急拡大に対応するため、再度、通常医療の制限によるコロナ受入病床の拡大を行います。

また、その他市内医療機関からも申し出を頂き、コロナ受入病床を拡大することとしました。

### 1. 市民病院における通常医療の制限による受入病床の拡大

○西市民病院（全病床数358床）

- ・ 感染症患者の受入病床 : (現在) 20床 → 43床
- ・ 通常医療（入院・手術等）の制限 : (現在) 2割程度 → 4割程度

○西神戸医療センター（全病床数475床）

- ・ 感染症患者の受入病床 : (現在) 36床 → 45床
- ・ 通常医療（入院・手術等）の制限 : (現在) 2割程度 → 4割程度

※9月1日より順次拡大

（参考）中央市民病院（全病床数768床）

- ・ 感染症患者の受入病床 : (現在) 46床（※） → 変更なし
- ・ 通常医療（入院・手術等）の制限 : (現在) 2割程度 → 3割程度

※臨時病棟36床、感染症病棟10床

### 2. その他の市内医療機関におけるコロナ受入病床の確保

神戸市第二次救急病院協議会に緊急臨時総会を開催していただき、会員の各医療機関に第5波対策についての要請を行った結果、7床増床となっています。

## <参考>

### ○確保病床数

	8月19日	追加病床	追加後
市民病院機構	102	32	134
中央市民病院	46	0	46
西市民病院	20	23	43
西神戸医療センター	36	9	45
その他の医療機関 (20病院)	180	7	187
合計 (23病院)	282	39	321

### 3. 市民への要請

#### <新型コロナワクチン接種>

これまで新規感染者のうち高齢者は2割程度で、7月以降、70歳以上の感染者は3%程度となっています。その一方で、20・30代の感染者数や40・50代の重症化割合は増大しており、さらに感染者数が拡大すると、それに伴い、若い方の重症者数も増加することになります。

新型コロナワクチンは、新型コロナウイルス感染症の発症を予防する高い効果があり、また、万が一感染しても重症化予防になります。(約95%の発症予防効果が認められています。)

接種を希望する市民の皆様には、直近の日程で予約枠に空きがある個別接種医療機関(診療所・病院)や集団・大規模接種会場で予約をしていただき、早めに接種を受けていただきますようご協力をお願いいたします。

本市の新規感染者数はこれまでにないペースで急増しており、医療のひっ迫を防ぐためには、引き続き、市民一人ひとりの自覚、感染防止対策の徹底が必要です。

○不要不急の外出・移動を控え、特に混雑している時間や場所を避けること。

○路上や公園等での飲酒は感染リスクが高いため、決してそのような行動はしないこと。

○特に、市民への最重点感染防止対策として、「マスク」と「距離」を強く要請。

・マスクを外して会話をしない。

・食事などで会話をするときは、

1メートル以上距離をとる。

斜めに座る。横に並ぶ場合は、一つ席を空ける。

大声を出さない。

○また、手洗、消毒、換気などの徹底した感染対策を強くお願いします。